

(銀のエンジェル賞 小学生中高学年の部)

ずつといっしょ

小四・米島 夏綾

さくらの花がきれいにさいた春、ぼくは初めてかりんちゃんとう会ったね。ピカピカのぼくといっしょに小学校へ行ったかりんちゃんは、とてもうれしそうだったよ。初めての教室。初めてのつくえ。初めての先生。初めてのお友達。何もかもが新せんで、ぼくもうれしかったのをおぼえているよ。さあ、ぼくもがんばって教科書やノートを運ぶぞ。これから六年間、いっしょにがんばろうね。

かりんちゃんおはよう。学校にもずいぶんなれてきたね。今日も一日がんばろう。あれれ。どうしてぼくといっしょに行かないの？今日は遠足だって？リュックサックのやつめ、ぼくには持たせてくれないお母さんのおいしそうなおべん当を運べるなんてずるいぞ。ぼくの方が、がんばるうちにできているのに。かりんちゃん待って。ぼくのこともつれていって。ぼくも動物園に行きたいよお。

長いようだった一学期もあつという間に終わり、みんなが楽しみにしていた夏休みだね。それにしてもせみがうるさいなあ。ぼくはみんなとちがって夏はきらいだな。暑いし、学校に行けないしさ。教科書やノート達もあくびなんかしちゃってだらけてるなあ。ぼくのことなんてわすれて、遊んでるかりんちゃんは楽しそうだな。早く夏休みが終わればいいのに。あれ、お母さん？ぼくをどこに持っていくのでしょうか。もしかして、おし入れにしまおうとしていませんか。ちよつとおまちください。ほ、ほらいつ必要になるか分か

りませんよ。それに、くらい所はきらいだよ。

「ぴしゃり。」

ふん、やっぱり夏なんて大っきらいだ。

長い長いおし入れの時間、いや夏休みも終わって二学期の始まり。今日は学校にお父さん、お母さんが来てくれるじゅ業さんかんだね。ぼくはいつもロッカーからじゅ業を受けているかりんちゃんを見てるから、がんばって勉強しているのをだれよりも知っているよ。むずかしい問題でも大じょうぶ。ほら、かりんちゃんはすぐに手を上げるでしょ。あ、お母さん、ぼくの前に立たないで。ぼくが見えないよ。まったくもう。でも、お父さん、お母さんはたまにしか学校に来れないもんね。今日は、ぼくの方までがんばっているかりんちゃんをしつかり見てあげてね。

今朝はなんだか寒いなあ。あつ、見て見て。外はすごい雪だね。いつも朝はねむたそうな顔をしているかりんちゃんなのに、雪のおかげか元気いっぱいだね。よし、今日の学校はリュックサックのやつにゆずってあげようかな。え、やっぱりぼくの出番なの。そ、そうだよ。お母さん、行ってきます。うわっ、外はもつと寒いや。かりんちゃん、ちゃんとかさをさして。ほら、ずぶぬれじゃないか、ぼくが。いてっ、学校に着くまで雪合戦は止めて。ますますぬれちゃうじゃないか。でも、みんないつもより楽しそうだな。寒いし、雪で冷たいけど、ぼくも楽しいや。

さくらの花がきれいにさいた二回目の春。

ぼく達は二年生になったよ。お友達もたくさんできて、学校が楽しそうなかりんちゃん。でもね、ぼくもたくさんお友達がいるんだよ。みんなが勉強や体育をがんばっている間、ぼく達はロッカーでおしゃべりをしているんだ。ぼくみたいに大切にしてもらっている

お友達もたくさんいるし、きずだらけになっているお友達もいるんだ。ぼく達はぼんそうこうをはれないから、けがをしちゃったら大へんなんだ。おぼえてくれるとうれしいな。そうそう、みんながぼくのことをうらやましいって言っているんだよ。ぼくがクラスで一番ピカピカなランドセルだからね。ふふん、ぼくのかりんちゃんはやさしくて最高でしょ。

学校から帰って来てすぐに、ぼくのことをげんかんに置いて遊びに行っちゃった時も、お友達とけんかして泣いていた時も、テストで百点を取って、お父さん、お母さんにほめられてうれしそうだった時も、ぼくは大きくなっていくかりんちゃんのそばにいられて、うれしかったよ。でも、もうすぐ。そんな事を考えるようになった。六回目の春。ぼくのお友達もみんな、どこかさみしそうだったよ。気がついたらさくらの花は散っていたっけ。

とうとうこの日が来ちゃった。さくらの花がもう少しでさき始める七回目の春。今日でかりんちゃんとの道を歩くのも最後だね。雨の日も、夏の暑い日も、雪がきれいだった日も、荷物が多くて大へんだった日も、いっしょに学校へ行けて楽しかったよ。初めてこの道を歩いた時、かりんちゃんは小さかったのに、今ではすてきなお姉さんになっているね。さみしいけれど、まだまだ教科書やノート達を運べるけれど、今日でぼくの役目は終わり。六年間、大切に使ってくれて本当にありがとう。中学生になってもやさしいかりんちゃんदैいてね。卒業おめでとう。そして、さようなら。

いつもよりさくらの花がきれいにさいた七回目の春。今日から中学校へ行くかりんちゃんの新しいかばんには、小さくなったぼくがいる。お母さんがぼくをキーホルダーにしてくれたんだ。教科書やノート達を運ぶことはできなくなっちゃったけどかまうもんか。ま

---

たいつしよに学校へ行けてうれしいな。中学校でも楽しいことがいっぱいあるといいね。かりんちゃん、これからもずっといつしよだよ。

---